



新しい年 2009年を迎えて 代田・九条の会の輪を広げましょう

1月12日(休)に、今年初めての、「代田・九条の会」世話人会を開催しました。
2009年の計画を次のように決めました。ご参加ください。

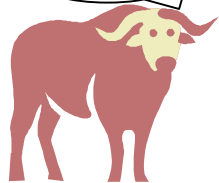
3月 8日 (日) 東京大空襲戦災資料センター(江東区) 見学
集合 : 午前11時 井の頭線・渋谷駅 岡本太郎の絵の前
昼食 : “深川めし”の予定
見学 : ビデオ 展示 含めて : 入館(協力費)300円
現地解散(予定): 午後3時半ころ

4月29日(水・休) 憲法集会 (於:代田教会)
午後1時半頃開始 ドキュメンタリー映画と講演
ドキュメンタリー映画「軍隊を捨てた国コスタリカ」
お話: 山本洋子さん(映画の監督)

詳細はおってお知らせします。

また、8月15日頃 終戦記念 靖国神社・遊就館フィールドワーク / 映画上映
11月 3日頃 代田・九条の会1周年記念集会
などを、計画しています。ご要望・ご意見などを世話人までお知らせください。

モオツ 危険な
動きは許さん
ぞ!



最近の国会では、本年度の補正予算や来年度の予算をめぐる動きが報道されています。この中で、改憲の動きに向けた準備も、実は、着々と進められています。来年度(2009年度)予算案の中に、「国民投票」(2010年以降)の実施準備の費用として、46億9千万円が盛り込まれています。また、自民党は、昨年暮れ12月19日の同党憲法審議会で、全都道府県で憲法「改正」担当の役員を選任することを決めました。細田博之幹事長は「全国的な運動を展開したい」と呼びかけています。改憲の動きが見えにくくはなっていますが、油断大敵です。

世田谷・九条の会 4周年記念 「2009新春・講演と音楽のつどい」

とき: 2月7日(土)午後1時30分開会 ところ: 世田谷区民会館

<< プログラム >>

- * 合唱 「レクイエム いのちこそ」 演奏: 松原混声合唱団/指揮: 清水 敬一さん
- * トーク 「いのちこそ」によせて 池辺 晋一郎さん (作曲家)
- * 朗読 小林多喜二「蟹工船」から 鈴木 瑞穂さん (俳優)
- * 講演 「音楽から見えてくる平和 そして未来」 湯川 れい子さん (音楽評論家・作詞家)

一人でも多くの方の参加をお願いします。

前売券を 1800円 (当日券: 2000円) で販売しています。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

第3回「九条の会」全国交流集会の報告

昨年11月24日、全国の地域・分野の会からの926名の参加で九条の会の全国交流集会が開かれました。それまでの1年間に493の会が増え、7294になったとの報告がありました。昨年11月3日にスタートした「代田・九条の会」もその一つです。

この会の様子は九条の会のニュース(オフィシャルサイトからダウンロード可能)に記載されており、報告集も発行される予定とのことです。分散会の共通テーマは、

* 「継続的な日常活動をどのように行っているか」、

* 「より広範な人びとと結びつきつつ、いっそう草の根に九条の会をひろげるにはどうするか」

で、活発に交流が行われたとのことです。

(九条の会ニュース No.118 <http://www.9-jo.jp/news/9jouNews/9jouNews118-081127.pdf>)

この集會に、代田・九条の会から、二人の方が参加され、感想文を寄せられましたので、紹介します。

活動の熱意に感銘を受けました

野間口 至

この種の集會に参加するのははじめてでしたが、会場の一ツ橋・日本教育会館に近づくると右翼の街頭宣伝車と警察車両が対峙してものしい雰囲気になりました。会のほうは予定通り進行して、全体会は呼びかけ人挨拶(大江健三郎、奥平康宏、澤地久枝、鶴見俊輔の4氏)につづく地域・分野からの報告等で昼となった。

午後ははじめ分散会でしたが、私は割り当てられた第10分散会に参加しました。私も発言希望を提出していましたので、後半に機会がありました。第10分散会は参加者78人、発言18人で時間は5分以内に制限されました。みな遠方からの参加者で東京都区内からは私一人でしたが、みな活動状況などうかがってその熱意に感銘を受けました。私は代田九条の会がこの11月3日に発足し、その設立総会に64人もの人が参加し成功であったことを報告しました。

最後に総括の全体会があり、12の分科会・分散会のそれぞれの報告が行われましたが、総参加926人で発言者がそれぞれ20人前後であったそうです。そして「九条の会」からの次の呼びかけが採択されました。

◎ 一人ひとりの創意や地域の持ち味を大切にしたい取り組みで、憲法を生かす過半数の世論を。

◎ 継続的・計画的に学習し、条文改悪も解釈による憲法破壊も許さない力を地域や職場に。

◎ 思い切り対話の輪を広げ、引き続き小学校区単位の「会」の結成に意欲的取り組みを。交流・協力のためのネットワークを。

以上かいつまんで報告しましたが、会場を埋めた参加者の熱気にあふれた雰囲気は力強いもので今後の展望を明るくし、また会場で配布された60数枚の各地の九条の会の活動状況を記した資料は新参者の私たちにとってはとても参考になるものでありがたく、それらを抱えて夕闇迫る会場を後にしました。

全国の運動・活動をきき、改めて会の重要性を受け止めた

小澤 満吉

呼びかけ人4氏の挨拶はどれも貴重な話であったが、澤地久枝さんの話で、自衛隊は田母神元幕僚長のような恐ろしく誤った戦争認識、歴史観を持った人物が自衛隊内外で隊員たちに教育を強化し「いつでも戦争のできる集団にしようとしている」など危険性を指摘した。このことはいかに九条を守る運動が大切かを思った。

分散会(第2)では宗教者の会は全国的広範な宗教者が加入し、平和巡礼やシンポジウムなど活発な活動はすごいと思った。また名東(名古屋)の会は一年の準備をかけ創作曲「いちばん大切なもの」を作り、演奏会など含め活動の輪を広げていく新しい取り組みには感動しました。

また他の分散会報告で首長九条の会(宮城県内元首長)は16人で結成し、全国1800人の首長宛に呼びかけ文を発送し、多くの賛同が寄せられ、同じ東北秋田県から「うちも13人で結成した」との報告もあり、敬意を表したい。

全国に7300余の会、この一年で493の会が生まれ、代田九条の会(11月3日発足)もその一つでホヤホヤの会と思った。

全国のすぐれた経験に学び、できることは挑戦し、この町に九条の会があつてよかったといえるようになればいいと思います。

日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない